

令和4年度 第1回 公民館運営審議会 会議録

1 日時・場所 令和4年9月22日(木) 10時00分～11時40分
三木市役所 5階 大会議室

2 出席者

<委員18名>

| | | |
|---------|----------|---------|
| 徳沢芳彦委員長 | 蓬莱道龍副委員長 | 泉 仁 委員 |
| 田中紀美代委員 | 告野幹也委員 | 池井広明委員 |
| 岩崎雅彦委員 | 藤原敏行委員 | 大島あんず委員 |
| 池澤絹代委員 | 善村龍昭委員 | 藤井克成委員 |
| 冨田 進委員 | 寺本善英委員 | 福島康之委員 |
| 岡本貴美代委員 | 藤田 均委員 | 井上宣行委員 |

(欠席：藤井泰子委員 森岡元子委員)

<事務局16名>

| | | |
|------------|------------|--------|
| 大北由美教育長 | 本岡忠明教育総務部長 | |
| 河端 康生涯学習課長 | | |
| 前田信利館長 | 藤田敏行所長 | 大西真一館長 |
| 中嶋健二館長 | 狩場泰治館長 | 友澤幸嗣館長 |
| 金子高士館長 | 梅田宏和館長 | 野口博史館長 |
| 藤田良之館長 | 丸岡まや係長 | 森本 宏 |

3 報告

- (1) 令和4年度各公民館事業方針について
- (2) 各公民館の活動目標及び各公民館の事業進捗状況について

4 公開・非公開の別 公開

5 傍聴人の数 0人

6 会議の概要

-
- | | |
|-------------------------------------------------|------------------------|
| 1 開 会 | 丸岡まや生涯学習課係長 |
| 2 あいさつ | 大北由美教育長 |
| 3 委嘱状交付 | 机上交付 |
| 4 委員紹介 | |
| 5 委員長・副委員長選出 | |
| 6 報 告 | |
| (1) 令和4年度三木市教育の基本方針(社会教育分野)について (河端生涯学習課長説明) | |
| (2) 各公民館の活動目標及び事業進捗状況について | |
| 7 議 題 | まちづくり担当による他市視察報告(資料配布) |
| 8 そ の 他 | よろず相談件数、各地推協の報告について |
| 9 閉 会 | 蓬莱副委員長 |
-

7 発言の内容

質疑応答

寺本委員： 中央公民館で開催されたプログラミング教室について、講師はどこからお呼びし、どのような内容だったのでしょうか。

前田館長： まちづくり担当が他市での取り組みを調べたところ、グリコマニュファクチャリングジャパンで企画があり、無料で来ていただきました。お菓子を並べることでプログラムになり、タブレットの中でキャラクターが動くものでした。

ドローンはプログラムを組み、それに従ってドローンが動くもので、月1回ペースで岡山の真庭の企業がボランティアとして来てくれました。昨年度も取り組みましたので、その内容を継続しております。

寺本委員： 新しいことに取り組んでいて感心します。可能であれば他の公民館でもやっていただきたいと思います。参加者は多くなかったのですか。

前田館長： プログラミングは抽選で24名に、ドローンは室内で操作するということもあり1回に5人という条件でしたが、土曜日ということもあったのか5～6名でした。

寺本委員： 別所町公民館のスマホ講座について講師や参加者数を教えてください。

大西館長： 1回目はソフトバンクで、20人までの定員で開催しました。希望者が多く、2回目はa uで実施したいと思っています。

寺本委員： 新しいものに取り組んでおられることがよくわかりました。古いものも大事にしながら限られた人数で新しいものに取り組むのは大変だったと思います。参加者数が少なくても必要なもの、コミュニティを守るものを残しながら新しいことに取り組む難しさを乗り越えてほしいと思います。

井上委員： 緑が丘町公民館のインターネットを利用した取組について、ネット環境の整備をしてもリテラシーが必要とありますが、それを高めるための来年の取組を教えてください。

また、別所町公民館で乳幼児教育学級の受講生が集まらず中止とありますが、今後の対応について参考にお聞きします。

金子館長： 人が集っての活動が難しいコロナ禍の中、インターネットを利用した活動として、昨年度に文化祭の動画をユーチューブで公開するネット配信形式で行いました。しかしながら、公民館利用者に動画を視聴したか尋ねたところ、視聴された方は多くありませんでした。そのことからネットを活用するリテラシー強化の必要性を感じました。まずスマホで見られるように、スマホ講座を6回開催しました。今後もドコモやソフトバンクと連携し、開催する予定です。

大西館長： 乳幼児教育学級ですが、対象年齢のほとんどの子どもが認定こども園に行っておられます。ですから家庭教育学級も認定こども園と連携し、そこで開催してもらっています。今後、乳幼児教育学級も募集はしますが、認定こども園と連携した取り組みを想定しています。

井上委員： オンライン予約システムやペーパーレス化等、公民館におけるデジタル化の状況を教えてください。

寺本委員： 私は紙の削減に反対なのです。パソコン環境がない高齢者は紙ベースで確認しないとわかりません。

河端課長： 現在、市役所内ではパソコンで会議資料を見られるようにし、ペーパーレス化を進めています。学校では紙とパソコンとの両方で行っています。

告野委員： 公民館がまちづくりも担っておられるので提案ですが、中央公民館、市民活動センター、高齢者福祉センター、高齢者大学の複合化について、まちづくりの観点からの土地利用がされていないと思います。公共施設だけでなく、農協などの民間施設・企業などの意見をお聞きし、どうすれば活性化するかをみんなで協議してほしい。地域が一体となって取り組んでもらいたいと思っています。

徳沢委員長： まちづくりにつきましてもこの場では協議できませんので、各担当部署にお伝えいただき、検討していただければと思います。

時間がありませんでしたら、志染中学校跡地利活用に対し新しく組織化ができたとありますが、人集めの難しい時代にどのように集められたのかお話しいただきたいと思っています。

中嶋館長： 歴代の区長協議会長にお声掛けをし、有志の方も含め結成しました。65歳になったばかりの人たちと、もう少し若く自営業などで比較的自由に動ける人たちをお願いして、5人の運営委員を選出できました。

岡本委員： 文化祭など公民館登録団体が参加し活動しておられると思いますが、吉川地区では、少子高齢化、コロナ禍、公民館の耐震工事による施設利用の制限などにより、活動休止や解散する団体もあります。各公民館でされている登録団体を増やす取り組みや、新たな団体がありましたら立ち上げの際の経緯を教えてください。

前田館長： 中央公民館でも、団体の減少傾向はありますが、公民館主催講座を終了後も続けて活動したいということで、そのままサークルとして活動されているヨガの団体があります。また、組み紐の講座でも、講座終了後も月1回活動されている団体があります。

岡本委員： 自主運営になったサークルでは、講師の謝金や部屋の利用料はどうなっていますか。

前田館長： 主催講座に参加された方が、講師に直接依頼しておられます。

徳沢委員長： 時間が少なく十分に協議できない面もありました。次回は資料を見て気になりますことなどを地元の公民館と事前に相談され、その結果を話し合えたらと思いますのでよろしくお願ひします。時間がなく申し訳ありませんでした。

その他

丸岡係長： よろず相談件数並びに各地推協における指導者・リーダー研修につきましては、資料をご覧ください。また、予定しておりました他市の視察報告につきましては、後日資料をお送りさせていただきます。
